



メルマガ「GPN 地元国際通信 Vol.15」(2017/2/8 発行)

発行運営 一般社団法人グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～地元国際！～地元企業を世界へいざなう国際専門家集団を形成するネットワーク！

[URL] <http://www.gpnjapan.com/> [代表 MAIL] info@gpnjapan.com

◎本メールマガジンは、GPN 会員、及び、名刺交換をさせて頂いた皆様に、当会からのお知らせや企業の海外進出・国際税務に関する最新情報をお届けするニュース配信です。

メールマガジンの解除、及び、配信アドレス変更をご希望の方は、本メールにご返信頂くか、GPN WEB サイトの「お問い合わせ」フォームよりご連絡下さい。⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

◎ ご意見・ご感想などございましたら、下記までお願いします。⇒ info@gpnjapan.com

I N D E X

- ベトナムでの会社設立から本格稼働！
～海外進出企業 支援記「初めての海外進出 お手伝い <その 11>
- パシフィック・ランゲージ・スクール マスミ・オーマンディ副校長 氏
～海外進出関連当事者インタビュー <その 5>
- <コラム> ミャンマー連邦共和国ガイド

※ Back Number 過去に配信させて頂きましたメルマガを掲載しています。
下記よりご覧下さい。

<詳細> ⇒ <http://gpnjapan.com/gpntimes/index.html>

>>> 注目情報

- 第2回 海外視察研修ツアー「ミャンマー連邦共和国」開催！ 参加者募集！！

>>> お知らせ

- 会員募集中！！～会員種別・協会費について
- 友人紹介制度のお知らせ～入会金免除！
- 「海外展開&国際税務に関する課題・質問にお答えします！」



GPN

Global Professional Network

■ 会社設立～本格稼働

～海外進出企業 支援記「初めての海外進出 お手伝い <その 11>

1. 会社設立の壁

工場を所有するK社の外資法人への賃貸ライセンスの取得が8月末にとれ、その後は会社設立に向かえると見ていました。しかし、K社がA社のベトナム法人に工場を賃貸するには、K社に木材加工業のライセンス取得が必要であることになりました。このライセンスを取得がやっと昨年未でき、会社設立へ向かうこととなりました。

投資登録証明書、企業登録証明書の発行を得られ、ついに会社の設立が終わりました。これから、3月の本格稼働をめざすことになりました。

2. 法人体制

当初は日本人2人体制で臨む予定でしたが、ベトナムの所得税負担後の実費給与補償をすると人件費負担が大きく、1人体制で臨むことになりました。社長はA社の社長が兼務、準備ですでに長期滞在しているN社員を副社長格での派遣となりました。

従来より、ベトナム関連ビジネスで協力を得ていた台湾国籍のJ氏を工場長とし、J氏の妻K氏を総務部長とすることになりました。

3. 従業員の採用

工場ワーカーは地域の求人雑誌で募集が基本です。概ね社会保険料負担、通勤費、その他厚生費を考慮すると月額300USドル程度を予算としました。

ここで、ジェットHPにより中国と東南アジアの一定の人口のある国の1人当たりの名目GDPを調べてみました。「ベトナム一般概況 ～数字で見るベトナム経済～ 2016年8月」によると、2015年は、USドルベースで、マレーシア10,073ドル、中国8,280ドル、タイ5426ドル、インドネシア3,416ドル、フィピン2,951ドル、ベトナム2,171ドル、ミャンマー1,269ドルとなっています。ミャンマーについて低いわけですが、フィリピンにかなり追いついてきた感じがします。ちなみに日本は32,481ドルです。

同データ集によって最低賃金について、ハイフォン市が含まれる地域1では、USドルベースで、

2011年10月5日施行	100ドル
2013年 1月1日施行	113ドル
2014年 1月1日施行	128ドル
2015年 1月1日施行	146ドル
2016年 1月1日施行	156ドル

となっています。日本と比較すれば1/10の水準といえます。

採用はまさにテト明けからですが、着実に製品を製造できる製造部門が構築できるか不安で一杯です。日本から、最低2人は技術指導に一定期間出張することになっています。

4. お金の管理

支払については副社長がしっかり管理するしかありません。ベトナムでは、小切手の振り出しには、代表者の署名、会計責任者の署名、代表印の押印が必要であり、会計責任者は当面、会計事務所へ依頼することになりました。この先の体制を考えれば信頼できる総務担当者を採用、教育する必要があります。

5. リスク対応

A社の会社設立は予想以上の日数がかかりました。A社は日本企業J社に木材加工品を供給するために進出することになりました。この間J社の生産も予定どおり進まず、本格的供給が大幅に遅れたことも幸いでした。一方、A社は従来よりベトナムのV社に製造を委託し、J社に納入していました。この間もV社の製造でなんとかJ社への製品供給ができていたわけです。

ベトナムへの進出においては、このリスクヘッジが今回極めて有効であったことになりました。

文責 野村 智夫



パシフィック・ランゲージ・スクール マスミ・オーマンディ副校長

～海外進出関連当事者インタビュー <その5>

○今回は、英会話教育に取り組まれてきたマスミ(勝手ですが、安倍首相に倣って)にインタビューをいたしました。今回は、テーマはただ一つ「どうしたら英語で会話ができるようになるのですか。」です。

GPN(地元国際)は、海外の事務所とネットワーク造りをいたしていますが、日系に絞って行っています。その訳は、我々が英語では、進めることができないから。慣れ親しんだ日本語では意思の疎通が可能ですが、英語ではせいぜい挨拶程度で、要件になったらお手上げ状態だからです。今海外進出を考えている経営者の方々も多くの方は、同意されるかと思います。でも、何時までもこの状態では。なら、「どうしたら?」とお聞きしました。



【マスミ・オーマンディ先生】

1973年に夫、レイ・オーマンディ氏と共に児童英語学校として「パシフィック・ランゲージ・スクール(PLS)」を東京都杉並区に開校し、副校長を務める。

早期英語教育のパイオニアとして、プログラム開発、教材作成に力を注ぎ、PLSシステムを確立。数多くの、英会話学校、幼稚園、保育園、小中高等学校の英語教育コンサルタントとしても活躍中。

全国で教育講演会の他、各学会での研究発表、外国人・日本人の教師・教員研修を行う。近年、イタリア語学習とイタリア児童の英語教育に従事、指導法などを研究中。英語教育と異文化紹介も兼ね「歌」による文化活動にも邁進中。

「英語は世界のパスポート」(どりむ社)他著書や共著も多数。

【パシフィック・ランゲージ・スクール】

東京都杉並区浜田山 3-35-38 ハイタウン浜田山第1号館 3F
TEL 03-5306-5991 / URL <http://www.pacificlanguageschool.com>

I: 最初にお聞きしたいのは、英語は、小さい時からやっておくべきなのでしょうか。

マスミ: いいえ、そんなことはありません。幾つからでもできますよ。

私は、68歳の時にイタリア語の勉強を始めました。歳ではありません。確かに耳のよい幼児期から始める方が楽ではありますが、その気になればだれでも、どこ言葉も、いつからでも始められます。苦手と思えばいつまでもダメで、結局どこまでやる気があるのか、勇気をもつことです。

I: では、多くの(日本人の)方々が、英語をマスターするのに苦しんでいる根本は、何なのでしょう。

マスミ: 私は、英語教育を始めて今年で44年になります。その間一緒に働いてくれた方々も半分は、外国の方です。大学で16年、幼稚園では29年になります。こんな環境で過ごしてきました。オーマンディとは、1963年に結婚しました。彼は、PLSの校長でもあり、大学で30年英語を教え、英語教育の人です。結婚以来ずっと一緒に暮らしています。こうした中、私は、アメリカ人である夫を通して、アメリカ人の眼で日本のことを、見てきました。

そうした見方から、申し上げるとしたら、日本人の心理的・文化的背景に原因があるのではないで

しょうか。日本人は、優れた所を持っていますが、それが邪魔になっている点があります。自信がない・間違いを気にする・言いたいことを控えてしまう。控えめ・慎重深いというのは日本では美德ですが、これが大きく日本人の英語の上達を妨げている。英語を身に付けようと思うなら意識改革が必要です。

もっと自信を持っていただきたいと思います。英語ができないのは当たり前なのです。ですから、練習をした方がいいのです。

I:確かに、しゃべる時は、ちゃんと言えるか躊躇しますね。

マスミ:勇気を持つことです。その気になればどこの言葉でもマスターできます。その人がどこまでやれるか。その氣しだいです。

(間違っただけを言ってしまうのでは、通じなかつたら笑われるのではといった)恥の気持ちと恐怖心を捨て去ることです。

ダメで当たり前、英語は使えば便利です。車の運転と同じです。車を運転できれば、買い物とか色々便利です。でも、車の運転ができないとってその方に教養がないということ関係ありません。

I:実際そうですね。

マスミ:車の運転と同じように英語が話せることは、便利です。英語を話すということは、学問でなくスキルです。

I:アメリカで、どんな子供でも英語を話していますし。

マスミ:また日本人は、充分できているのにしゃべれない、英語は苦手とおっしゃいます。これが、外国の方との大きな違いです。日本人は、10年間英語を勉強していますが、日本人だけ。韓国人・中国人は、短い時間でもものにされています。

単語を並べただけでも、とりあえず、意味は伝わります。まず、(しゃべるという)勇気を持つことです。(伝わるという)自信を持つことです。

マスミ:関西の方は、上達が早いというか、イントネーションが似ている所あるようです。

I:関西の人間は、自分から恥をかきに行くというか、自分をよく見せようとすることに抵抗感がある環境で育っていますから、ひょっとしたらそんな所が影響しているのでは。いわゆる大阪のおばちゃんのように一杯しゃべるのが本能のような人も多いですし。

マスミ:おしゃべりが好きな人は上達がはやいです。また、興味を持つ方は、うまくなるのが早いですよ。

大学で16年間教えてきましたが、女性の方のほうが上達ははやいです。日本の男性は、「男は黙ってビール」とか言いますが、余りしゃべらない方が多く、しゃべらないと上達はできません。

マスミ:頼まれて今回シニアの2名と合宿を企画しました。英語の使い方を勉強するのでは無く、楽しく一番早く近道を見附ける試みです。多分基礎的なことはお持ちのプロフェッショナルな方々と思いますが、5日間英語を使って楽しく生活して、どの程度のことができるか試してみようという狙いです。

I:少し前までは、英語を仕事の中で使う人間は、どちらかというと特殊な仕事をする人で、圧倒的多数の日本人は、英語と離れた所で仕事をし、生活をしていました。ところが、最近世界が小さくなり、普通の中小企業でも海外進出をして行く時代となりました。中には、日本企業であり、日本国内でありながら公用語を英語とする会社も出てきています。

マスミ:海外で話をする時、お互い母国語が違くと話すのは、英語になります。コンピューターの言葉も英語ランゲージですからね、EUで論文を出すのも、英語で通るようになりました。世界と言葉を交わすのは、英語ですね。

I:英語は、コミュニケーションの基礎ですね。

そんな世の中ですが、まだ、大半の人は堪能ではありません。我々の様な人間が、3ヶ月なり半年後、海外赴任を言われた場合、どう対応したらいいでしょうか。

マスミ: 皆さんある程度は、基礎英語力はお持ちになっていらっしゃると思います。一対一で先生と身の回りのことなど打ち解けて(英語で)しゃべることに慣れることです。

実際、ひっ迫されたら上達します。知識もおありなので、心理的バリアをはずしてしゃべること、聞くことに慣れることです。

現地の人たちと話をする時、高度な専門的なことは通訳の方を入れられることになるでしょうが、日常の中で、スモールトークを始めて、心理的バリアを外すことでしょう。

I: 話すのもありますが、聴き取りは、厳しいですね。

マスミ: まず聞くことです。聴き取りさえできれば、単語をつなげるだけで返事になります。

聞く力をつけるは、大事な事です。小さな子供は、楽ですね。直ぐ入って行きますが、大人は意識して聴かなければ、入ってきません、意識しなければ。リスニング、スピーキングなどに関しての方法論はあります。でも今日は、個別の方法論ではなく、大本のことをお話ししましょう。

英語は、音楽やスポーツと一緒にです。

子供の頃、音楽は素直に耳から入ってきましたね。子守唄を聞いたり、お母さんと一緒にテレビの歌を口ずさんだりして歌が入ってきましたね。楽譜を持ってきて「さあ、歌の勉強をしましょう」なんてしなかったでしょう。

ところが、英語になるとどうでしょう。テキストブックを持ってきて、「始めましょう。」

どうでしょうか。テキストブックで、英会話は、上達しません。確かにこれだけは覚えなければという文例はありますが、むしろ沢山は聞く・話すということです。しかも楽しく。

I: 音としても英語は、聴き取りにくいです。

マスミ: 聞くこと、英語の音に慣れることです。英語と日本語は音として全く違います。英語には、音に出さない発声というのがあります。唇・歯・舌、口全部を使って発声します。口の奥、下、上いろんなところから音を出します。日本語は、唇・歯・舌を使わず口だけで発音することができます。これが、英語と日本語と違う所です。例えば I'm fine. このファインを発音する時は、ファインのぶつける音がでなければ伝わりません。話すとき、強く言う所、弱く言う所口全部を使わないと英語の言葉となりません。アイム ファインでは、伝わりません。アイム ファインです。私を強調するならアイム ファイン です。発音は、英語の発音でされなければ、外国の方には伝わりません。

I: 流れとして掴むということですか。」

マスミ: リスニングは、大事です。聴いている内に一つの単語に捉われて文章をとらえ損ねることが、(慣れていない方には)あることです。発音が入っていない方、つまりヒアリングが早くできていない方は、文章を読む場合でも目で一字一字読んでゆくと意味を掴むのに時間がかかります。(リズムに乗って)文章をかたまり毎に読んでゆくと楽で、しゃべるのもかたまりでしゃべるべきです。

I: たどたどしい単語を並べるとしても、かたまりでしゃべるといことですね。

マスミ: 私は、道楽でもなく歌手として練習をしています。イタリア語を学ぶために歌から入りました。夢ですが、81歳で、日本人として初めてのグラミーにノミネートされたいという大きな希望を持っています。これも、英語の教師として、歌を通じて英会話の教育というもの考えています。

マスミ: 英語は、スポーツにも似ています。

以前にサンディエゴのテニススクールに入りました。10日間の合宿で、その時フォームを固めるのに1日1,000球のテニスボールを打ちました。1日終わると腕が上がらない様になっていました。これだと思います。幾ら色んなビジュアルを見て、こうボールをとらえて、フォローはこうするのだと理論を教えてもらっても実際練習しなければボールは打てません。頭で分かっている、何の役にも立ちません。

英語も同じです。はっきり言えるのは、英語は、決して学問ではありません。音楽やスポーツと一緒にのスキルです。何度も繰り返して始めて身体につくのです。

これを身に付けるには、練習することです。

最も早く身に付けるには、英語しかしゃべれない環境に身を置くことです。

I:そういう意味では、日本は、ビジネスの世界でも英語をしゃべれないでも通用する環境ですね。最近は少し変わってきましたが。

マスミ:そういう意味でも日本は、世界でも特殊な国なのです。

○インタビューが終わって

すごくエネルギッシュで、魅力的な方でした。実は、1月7日にコンサートの開くのが予定されていて準備にお忙しい時期でありましたが、快くインタビューに応じて戴きました。本当にありがとうございます。

コンサートに行ってきました。1時間のステージを2回、エネルギッシュに歌うのを聴いてきました。歌詞の英語はほとんど聞き取れませんが、ヴォーカルとしての歌声だけでなくそれを裏打ちする人間的魅力に圧倒されたステージでした。また、女性にお歳の話は失礼ですが、我々よりはるかな大先輩でここまでできる人間的体力にも脱帽です。

まだ、マスミがイタリア語に取り組まれた歳には、至っていません。もう一度、勇気をもって、楽しく英会話に挑もうと背中を押された感じます。



文責 長友 滋尊

■ コラム ～ ミャンマー連邦共和国ガイド

○ミャンマー連邦共和国 (Republic of the Union of Myanmar: 通称「ミャンマー」) は、東南アジアのインドシナ半島西部に位置する共和制国家。独立した 1948 年から 1989 年までの国名はビルマ連邦。南西はベンガル湾、南はアンダマン海に面する。南東はタイ、東はラオス、北東と北は中国、北西はインド、西はバングラデシュと国境を接しています。インド東部とミャンマー南西部はベンガル湾をはさみ相対しています。

< 一般事情 >

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 1. 面積 | 68 万平方キロメートル(日本の約 1.8 倍) |
| 2. 人口 | 5,141 万人(2014 年 9 月(ミャンマー入国管理・人口省発表)) |
| 3. 首都 | ネーपीドー |
| 4. 民族 | ビルマ族(約 70%), その他多くの少数民族 |
| 5. 言語 | ミャンマー語 |
| 6. 宗教 | 仏教(90%)、キリスト教、回教等 |

< 経 済 >

- | | |
|--------------|--|
| 1. 主要産業 | 農業 |
| 2. 名目 GDP | 約 568 億ドル |
| 3. 一人当たり GDP | 1,113 ドル |
| 4. 経済成長率 | 8.25% |
| 7. 総貿易額 | 輸出:約 112 億ドル、輸入:約 137 億ドル |
| 8. 主要貿易品目 | 輸出:天然ガス、豆類、衣類、チーク・木材、米、
輸入:機械部品、精油、製造品、化学品、 |

< 主な観光スポット >

主な観光スポット名称	所在地
バガン遺跡群 (Bagan)	Bagan Archaeological Zone, Bagan, Myanmar
アーナンダ寺院 (Ananda Temple)	Bagan, Myanmar
タビイニユ寺院 (Thabyinnyu Temple)	Bagan, Myanmar
ブーパヤーパヤー (Bupaya Paya)	Bagan Archaeological Zone, Bagan, Myanmar
シュエダゴンパヤー (Shwedagon Paya)	Dagon, Yangon, Myanmar
ポッパ山国立公園 (Mount Popa National park)	Bagan, Myanmar
マンダレー旧王宮 (Mandalay Palace)	Mandalay, Myanmar
シュエターリャウン・パゴダ (Shwethalyaung Pagoda)	Bago, Myanmar

※出典・参考 外務省 <http://www.mofa.go.jp/>

>>> 注目情報

■ 地元国際 海外視察研修 開催の御案内

～中堅企業の海外視察旅行(第2回 ミャンマー篇)～

中堅企業、及び、同支援機関の皆様方と共に成長を目指す一般社団法人 GPN(地元国際)では、海外展開企業支援の一貫として「中堅企業の海外視察旅行(第2回 ミャンマー篇)」を開催致します。最後のフロンティアともいわれるミャンマーは、民主化以降開発が進み、経済成長が著しく注目される東南アジアの中でも注目を集める国です。今回は、ミャンマーの経済活動の中心であるヤンゴン視察することにいたしました。現地では、日系会計、法律事務所との懇談、日系進出企業訪問、及び、現地の観光資源の視察も計画しています。海外展開企業、及び、海外展開企業を支援されている方々(金融機関、土業の先生、コンサルティング会社等)へ有用な情報を御提供できるものと考えております。この機会に、是非、御参加頂きたいようお願い申し上げます。多数のお申し込みをお待ちしております。

● 開催概要

1. 日時 平成29年3月25日(土)～3月29日(水) 3泊5日(機上1泊)
2. 定員 20名程度(最低催行10名)
3. 行程 別紙「海外視察旅行(第2回 ミャンマー篇)の日程表(行程)」参照
4. 訪問先 ヤンゴン(ミャンマー)
5. 旅行代金 お一人様あたり ¥210,000円(2名1室)
 - ☆ 旅行代金に含まれているもの
 - ・航空運賃(エコノミークラス)、宿泊料金(2名1室)
 - ・食事料金(朝:3回、昼:3回、夕:4回 機内食を除く)
 - ・観光、移動料金、専用車及び日本語ガイドチャーター料金
 - ☆ 旅行代金に含まれていないもの
 - ・燃油サーチャージ 3,000円
 - ・成田空港・現地空港施設使用料・保安サービス料および諸税 約6,000円
 - ・ミャンマー入国のためのビザ代金 7,000円
 - ☆ オプション(別途料金)
 - ・ビジネスクラス追加料金 252,000円
 - ・部屋のシングルユース 48,000円(3泊)

※ 申込締切 平成29年1月31日

<注意> ミャンマーは、入国にあたって VISA(ビザ)の取得が必要となります。この際、パスポートも合わせて必要となりますので、お持ちでない方は、早急取得して頂きたいようお願い申し上げます。

【申込方法】 別紙「参加申込書」又は GPN WEB サイトよりお申し込み下さい。

⇒ <http://www.gpnjapan.com>

※ なお、お申し込み多数の場合は先着順(入金確認が出来た方順)とさせていただきます。

<申込方法> 「(1)エントリー」→「(2)参加費納入」の2ステップ!

(1)エントリー 別紙「参加申込書」又は GPN WEB サイトの TOP、左メニュー「資料請求・各種申請」をクリックし、必要事項を記載の上、「2. ご用件」→「海外視察申込」を選択、参加人数を自由記入欄へ記載願います。*参加費用のお支払いは銀行口座振込のみとなります。

<GPN WEB URL> <http://www.gpnjapan.com>

(2)納入方法 次の口座へお振込み願います。

<みずほ銀行> 銀座中央支店(店番125) 普通 口座番号 1332491
口座名義 シャ) グローバルプロフェッショナルネットワーク

主催 一般社団法人 グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～地元国際～地元企業を世界へいざなう、国際専門家集団を形成するネットワーク!

<GPN サポートデスク 住所> 〒272-0034 千葉県市川市市川 1-12-22 市川サークルビル 6F

TEL 047-712-5531 FAX 047-712-5532 E-Mail(代表) info@gpnjapan.com URL <http://www.gpnjapan.com>



>>> お知らせ

■ 会員募集中！！～会員種別・協会費について

○当会は2014年6月に、新たな使命を担う税理士、公認会計士などの士業者が中心となって設立されました。国際専門家集団を形成するネットワークを構築し、地元中小企業を世界へ誘い、我が国の経済の発展に貢献するための事業を行っています。会員の皆様から御支援頂く会費は、海外へ展開していこうとするSAMURAI日本の企業および企業戦士の方々への支援活動に活用させていただきます。

何卒、本事業の趣旨に御賛同頂き、当会へ御参加下さいますよう、お願い申し上げます。

【会員種別・協会費】

(1) 正会員 ・社員総会に参加し、議決権を有する方。GPNの活動に関し、財務的支援、及び、運営に関して関与する方。

<費用> 入会金 10,000 円 会費 5,000 円/月 (60,000 円/年)

(2) 準会員 ・下記の会員の権利を有する方。

<費用> 入会金 5,000 円 会費 1,500 円/月 (18,000 円/年)

(3) 賛助会員 ・当法人の目的に賛同し、財政的支援を提供する方。

<1口> 10,000 円

個人の方 1口以上
団体・企業の方 10口以上

※入会金については、会員となっている者からの推薦を受けた場合には免除されます。

【会員の皆様へのサービス内容】

会員の権利	会員の種別	正会員	準会員	賛助会員
(1) 定款第12条に定める議決権の行使		○	—	—
(2) GPNが運営する外部への発信媒体での紹介 ex: WEB サイト・メルマガでの掲載		○	○	—
(3) GPNの活動に関するサポートの收受 ex: 海外展開企業への支援(個別相談・国外パートナー紹介等)		○	○	○
(4) GPNが主催する事業および催事への参加 ex: 海外視察研修ツアー、講演会・セミナー優先割引受講、 会員誌・メールマガジン購読		○	○	○

【注意】①入会を申請する者は、定款にしたがい、所定の入会申請の手続き、及び、指定決済機関による入金の確認をもって行うものとします。

②契約期間は、入会手続きが完了した翌日より起算して1年間とします。但し、期間満了日の2ヶ月前迄に、会員より所定の退会申込書が提出され、経営執行委員会が退会の申し入れを受理した場合を除き、契約期間は1年間延長され、その後も同様とします。

③契約期間中に中途退会する場合は、その理由の如何を問わず、払い込まれた会費等の返金を行わないものとします。また、協会費の未払分、及び、残債務全額を支払うものとします。

④会員の資格喪失、その他の詳細は定款、及び、利用規約に記載されています。必ず、ご一読下さい。

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

■ 友人紹介制度のお知らせ～入会金免除！

○皆様のまわりに、海外進出をご計画の経営者様、又は、海外展開案件の相談を受けている税理士・公認会計士等の士業者の方はいらっしゃいませんか？ ご紹介頂いた方が GPN に入会された場合、入会金免除の上、GPN が懇切丁寧にバックアップさせていただきます。

次の事項をご記入の上、本メールにご返信頂くか、GPN WEB サイト「お問合せ」フォームより、ご連絡頂きたいようお願い申し上げます。

<友人紹介>

- 組織・団体名称
- 姓 名
- ご住所
- 電話番号
- E-Mail

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

■ 「海外展開&国際税務に関する課題・質問にお答えします！」

○GPNは中小専門家事務所の国際社会での競争力を強化し、既存、及び、潜在クライアントの国際化のサポートを行う組織を、日本の中小専門家事務所と共同して、日系専門家事務所のネットワークです。

<募集>現在、海外進出をご計画されている企業の顧問をされていらっしゃる税理士、公認会計士の皆様の課題や国際税務に関する質問にお答えします。お気軽に、下記までお問合せ下さい。

<お問合せ> ⇒ <http://www.gpnjapan.com/>

発行運営団体のご案内

○本メルマガは、個人情報保護ポリシーに基づいて配信されています。

詳しくは下記のページをご参照ください。

・プライバシーポリシー ⇒ <http://gpnjapan.com/notice/policy.html>

○本メールは日本国内向けの情報です。本メールの掲載情報や資料の掲載には、適宜、更新、追加をする等、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容は、更新時期などにより変化する事があり、一切保証するものではありません。

・本メールの再配信、記載内容の無断転載・転用・編集はご遠慮ください。

○ご意見・ご感想などございましたら、下記までお願いします。

<GPN カスタマーセンター／メールサービスデスク>

〒272-0034 千葉県市川市市川 1-12-22 市川サークルビル 6 階

[TEL] 047-712-5531 [FAX] 047-712-5532 [代表 E-Mail] info@gpnjapan.com

[Mail Desk] gpn@gpnjapan.com [URL] <http://www.gpnjapan.com>

営業時間：月～金（10:00～18:00、祝日・年末年始を除く）

<発行運営>

一般社団法人グローバル・プロフェッショナル・ネットワーク

～ 地元国際！～地元企業を世界へいざなう国際専門家集団を形成するネットワーク！！

Copyright 2016 Global Professional Network All Rights Reserved.

